

Title	二〇二二年度三田史学会大会プログラム：二〇二二年六月二五日
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	2023
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.91, No.4 (2023. 1) ,p.116 (384)- 118 (386)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-20230100-0116

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

二〇二二年度 三田史学会大会プログラム

―二〇二二年六月二十五日―

午前の部 研究発表

日本史部会

- 一、古代在地社会における貧窮者救済 早稲田大学大学院文学研究科後期博士課程 森田大貴
- 二、田沼期印旛沼干拓における周辺地域の展開から見る事業目的 東洋英和女学院中学部高等部 宗重博之
- 三、明治期初頭教育史料にみる「貨幣」の学び 慶應義塾大学非常勤講師 藤田典子
- 四、在来産業の製品ポートフォリオ拡張と低級品市場 一八九〇～一九一〇年代醬油醸造家・高梨家の地方売り手印類似品― 慶應義塾大学文学部 前田廉孝

東洋史部会

- 一、近代長崎におけるアジア主義の展開と韓国併合 東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程 岡部柁太
 - ―鈴木天眼の言論活動を中心に―
- 二、一七世紀初頭オスマン帝国におけるテルヤ・ベイ船団 東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程 岡部柁太
 - ―『枢機勅令簿』にみる船団の編成と派遣―

- 三、間島省臨時政府の役割とその意義
- 四、近代アラブ地域における雑誌と読者

慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程
一橋大学大学院社会学研究科後期博士課程

相磯尚子
尹国花

―『ムクタフ』の質問投稿欄の分析から―

慶應義塾大学文学部

勝沼聡

西洋史部会

- 一、古代エジプト末期王朝時代におけるセト神迫害の儀式
- ―Dirk VIの分析―

広島大学人間社会科学研究所博士課程後期

宮本彩芽

- 二、ヘンリー七世期の国王評議会
- ―行政への国王評議会員の影響―

同志社大学大学院文学研究科後期博士課程

加藤大貴

- 三、一八世紀後半ポルトガルにおける特権会社とワイン産業
- ―「アルト・ド・ロ葡萄牙栽培会社」と「違反調査」(一七七一―一七七五年)の分析から―

慶應義塾女子高等学校非常勤講師

倉根彩乃

民族学考古学部会

- 一、消費地出土資料からみる紅専用器の流通
- ―江戸・東京一帯を対象に―
- 二、江戸市中女性人骨の耳状面前溝

慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程

岩浪雛子

- ―埋葬年代・埋葬形態別の比較を中心に―
- 三、初期ビザンツ期パレスチナにおける教会堂・修道院の建築変遷

慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程

中村謙伸

東京文化財研究所研究補佐員

藤澤綾乃

四、初期鉄器時代のテル・レヘシユと下ガリラヤ地方

東京文化財研究所客員研究員

間 舎 裕 生

午後の部 総合部会シンポジウム

「自然災害と求められる文化財保護のあり方―特に大学組織の関与について―」

趣旨説明・司会

慶應義塾大学文学部教授

渡 辺 丈 彦

基調講演一 イタリアの文化財レスキューと保存修復

―一九六六年フィレンツェ大洪水から考える「予防的修復」の意義と応用―

東海大学教養学部／情報技術センター准教授、修復家 田 口 かおり

基調講演二 日本における文化財防災の制度・枠組の成立と展開

―東日本大震災への対応のおはなしを中心に―

国立文化財機構東京文化財研究所保存科学研究センターセンター長、

同機構文化財防災センター副センター長 建 石 徹

基調講演三 ふくしまの現場から振り返る一一年 ―できたこと、できなかったこと―

福島大学行政政策学類教授、ふくしま歴史資料保存ネットワーク代表

阿 部 浩 一

パネルディスカッション

三田史学会総会